NIE実践報告

1．タイトル：☆ちきゅうのことをかんがえよう

2．学校名

北海道網走市立網走小学校

3．実践者名（代表者名）

本間寛太

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動　25人

6．単元（本時の学習課題）名

ちきゅうのことをかんがえよう

7．目標(狙い)

新聞記事をきっかけに、地球人としての自覚をもつとともに、地球にやさしい生活を使用とする心情を養う。

8．評価の視点

①教師の与える新聞の写真や記事の内容を聞き、親しみを持てたか。（関心・意欲・態度）
②新聞の記事について教師の解説をよく聞き、自分の考えを表現することができたか。（聞く・書く）

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①「スペースシャトルときぼうをしろう」1時間
②「ちきゅうのすがたを見よう」1時間
③「ちきゅうについてかんがえよう」1時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「スペースシャトルときぼうをしろう」（学級活動）1時間
新聞記事をもとに「きぼう」や「人工衛星」の存在を知る。
②「ちきゅうのすがたを見よう」（学級活動）1時間
DVD「EARTHLIGHT~　輝かしき地球~　」を視聴する。
③「ちきゅうについてかんがえよう」1時間
新聞記事や筑波宇宙センターの画像、DVDの視聴を元にして自分の感想を書く。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・自分たちの学校の記事や活動が新聞記事にあんる体験を通して、「のってたよー！」と喜びの声になっていた。
・教師の「しんぶんにのるかもしれないよ」という声かけにより、その期待感から意欲的に作文に取り組んでいた。

12．成果と課題

①自分たちの学校の記事や活動が新聞記事になる体験を通して、新聞に親しみを持つようになった。
②「新聞に載るかもしれない」という期待感から意欲的に作文に取り組み、国語科で学んだことを生かして、自分の考えを文章に表すことができた。
③新聞記事を扱う授業は、それを扱う担任教師の読解力や社会性に大きく左右されると考えるため、一層の自己研鑽が課題であると考えた。